

ほほえみ

小平小学校たより 第38号
文責 平田村立小平小学校長 富岡 信
令和5年11月24日(金)

教育相談終了

教育相談で来校していただき、ありがとうございました。

子どもたちへのより良い成長のために、連携することはとても大切なことです。例えば、「友達を大切にしよう」と話したあとに、別の大人から「友達なんて作らなくてもいい」などと言われた子どもは、どちらを信じてよいのか分からなくなります。「作らなくてもいい」と言った大人を信じた場合、「友達を大切にしよう」と話した人の言うことは聞かなくなります。極端な例をだしましたが、「決められた時間、学習に取り組もう」、「SNSでは必ずきまりを作ろう」、「道路を渡るときは、指差し確認して手をあげて」など、子どもたちに同一歩調で同じ言葉かけをしていきたいものです。

今後も、学校からは「よいところ」「気になるところ」など感じたときは、各家庭に連絡・相談していきますので、家庭からも連絡してください。これからもよろしくお願ひします。



小中連携 中学校教師の授業

11月20日(月)、小中連携としてひらた清風中学校の数学教師が小平小学校に来て、6年生算数の授業を行いました。中学校の授業に抵抗感をなくすのがねらいです。

三角形や四角形の角度について、中学校ではもっと素早く正確に計算して求めるということを学びました。算数・数学は、物事を分かりやすく説明したり、簡単に計算できるようにするための学問です。6年生は、授業の最後に、「分かりやすい」「面白い」などと感想を言っていました。どんどん算数・数学に興味・関心をもってほしいです。



赤い羽根募金 たくさんの真心

11月21日(火)、赤い羽根募金で集まったお金を運営員会の児童たちが社会福祉協議会の方に手渡しました。

各家庭から募金をしていただきました。趣旨を理解し、お小遣いから出した子もたくさんいました。募金とともに優しい心が伝わることでしょう。御協力ありがとうございました。



※多くの写真などは、小平小学校ホームページをご覧ください。